

リーディングDXスクール事業【実践事例】

新潟市立小新中学校（新潟県）【指定校】

【取組内容】 キャリア教育を通じた情報活用能力の育成（2年生前期）

I はじめに

2学年総合的な学習の時間では前期、職業について探究しました。夏休み前までに、介護やソフトウェア開発、食品開発に携わっている方から、講演をしていただきました。道徳授業と教科横断を図り、働くことの意味を考えました。事前学習を行った後、実際に3日間の職場体験にも参加しました。夏休みは、それまでに教えてもらったことに自分なりに探究したことを加えて、家族の前で発表（アウトプット）をしてもらいました。

探究：小新ハローワークでは、生徒たちが数年後に就職することを自分事として捉えて、主体的に取り組む姿がみられました。様々な分野でロボットやAIの活用が進む中、よりよく生きるために、自分に合った働き方を選択する必要がある。自分の夢を実現するためには、家族の理解や支援が必要である。そのことを子どもたちは理解しているようでした。

多くの生徒が、家族の前での発表を終えています（まだの生徒は、これから…）。また、すでに84名の保護者から、事後アンケートにも答えていただきました。結果から、生徒たちの頑張りと工夫を読み取ることができました。ほんの一部ですが、紹介します。

II アンケート結果から

1 個別最適な学びの充実

やりたいことややりたい職業、興味・関心は1人1人、異なります。探究では、テーマや表現方法を自ら選択し、個別最適な学びが行われるように工夫してもらいました。

(1) テーマの選択：教科横断的な学び

小新中学校では、総合的な学習の時間を核として、教科横断的な学習にも取り組んでいます。日ごろ、教科書に沿った授業が進められていますが、そこで培われた教科の見方・考え方はたまたま、発展的な探究を行ってもらいました。なりたい職業で必要とされる教科学習を調べてもらおうと、国語を挙げる生徒が最も多かったです。接客で適切な言葉遣いや表現が必要だと感じている生徒がいました。次いで、社会や理科を挙げる生徒が多かったです。美容室で髪染めをする際に、化学の知識は必要です。

グラフ1「なりたい職業と関りがある教科」【人】

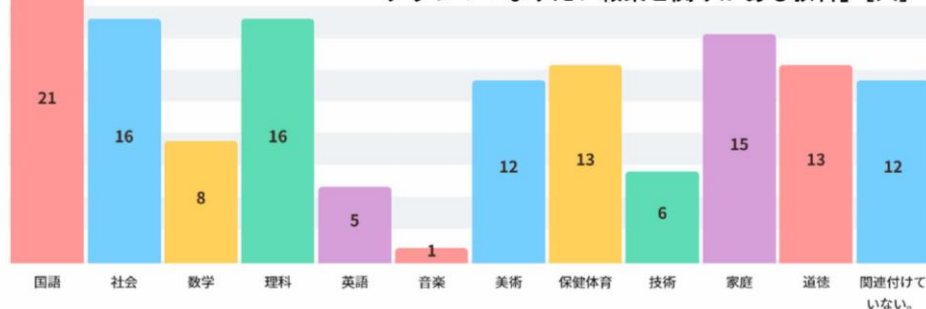


表1「なりたい職業と関係がある教科（必要とされる内容や場面）」

国語	美容師（聞く力） 国語教師 イラストレーター（コミュニケーション能力。パッケージやポスター制作で字を使う。依頼者の要望を把握する理解力も必要。） IT関連の仕事（取扱説明書） 旅館の中居（接客）
社会	鉄道運転士（地形を把握してスピードを調整。） 理学療法士（海外で活躍する場合、その国の歴史を知る必要がある）。警察官（法律）
数学	薬剤師（薬の分量を正確に計算）
理科	美容師（髪染めの技術）。介護士（血液や消化のしくみ）。薬剤師（物理・化学・生物の知識）。看護師（動物のつくり）。獣医（解剖学、病理学、薬理学、畜産衛生学、人畜共通伝染病、食品衛生） 宇宙関連（天体） 医療関係（人体） 自動車関係（物理） 整形外科医
英語	JRA職員（英語力） 青年海外協力隊（語学力） 中居（外国人への対応）
音楽	保育士（歌、ピアノ）
美術	イラストレーター（色使い、オリジナリティが大切。） デザイナー アニメーター（作画）
保健体育	理学療法士（ストレッチ、休養の取り方） PICU看護師 理学療法士
技術	ゲームプログラマー（プログラム） 鉄道運転士（機器のしくみや操作を理解） ロボット開発（電気工学）
家庭	食品開発（添加物） 保育士（離乳食） 理学療法士（栄養）
道徳	全ての職業（人はなぜ働くのか、働くことの意味）

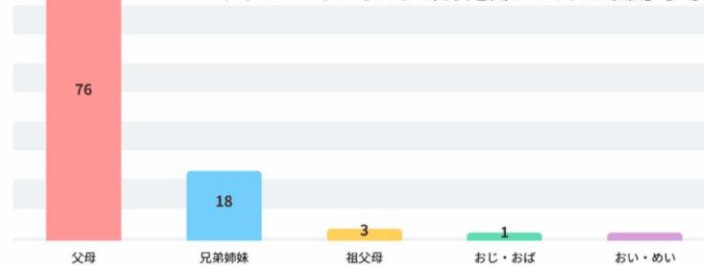
2年生の前期の総合では、職業について探究した。夏休みには、職業について調べ、得られた情報を保護者に分かりやすく発信・伝達したりした。保護者からは、評価や助言をしていただいた。

2 協働的な学びの充実

(1) 夏休みは、家族との協働的な学び

普段、生徒たちは同級生と協働的に学んでいます。夏休みは家族との協働的な学びでした。祖父母や、おじ・おばから発表を聞いてもらう生徒もいました。

グラフ2「子どもたちの発表を聞いてくれた家族」【人】



リーディングDXスクール事業【実践事例】

新潟市立小新中学校（新潟県）【指定校】

【取組内容】 キャリア教育を通じた情報活用能力の育成（2年生前期）

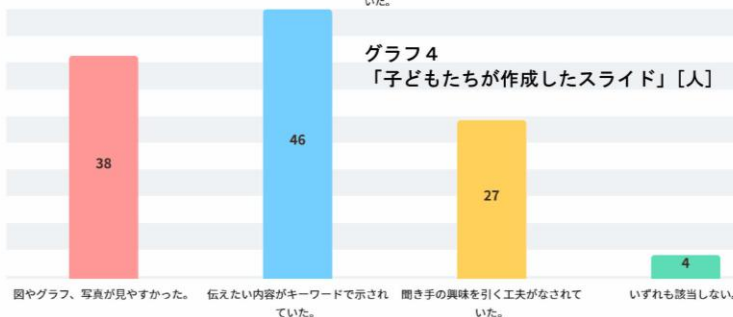
- 生徒は、夏休み中、コンピュータ等を適切に用いて、職業に関する情報を整理・比較したりした。
- 得られた情報は、保護者に対して分かりやすく発信・伝達したりした。
- 保護者からは、発表中の話し方やスライドの分かりやすさなどを評価していただいた。

(2) 子どもたちの発表（アウトプット）は概ね良い評価【自分の考えを自分の言葉で】
「ゆっくり、はっきり、適切な声の大きさで説明できている」「伝えたい内容がキーワードで示されていた」と、家族から肯定的に評価される生徒が多かったです。

グラフ3「子どもたちの発表中の話し方」【人】



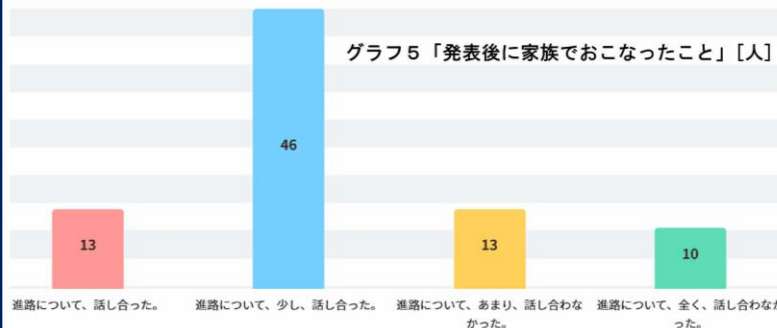
グラフ4「子どもたちが作成したスライド」【人】



(3) 家族の声掛けで探究の「価値」や「やりがい」を再認識

発表後に、中学校卒業後の進路について話し合う家庭が多くみられました。今回の発表がきっかけとなり、家族が自分の進路希望を理解してくれて、励ましや具体的なアドバイスを得られたら、生徒たちも探究の価値を再認識できると思います。

グラフ5「発表後に家族でおこなったこと」【人】



グラフ6「発表は、お子さんの夢や進路希望を理解する上で役立ちましたか」【人】



保護者の感想「子どもたちの発表の仕方を感じた良い点や工夫」(抜粋)

■職場体験で活かされた事が、分かりやすくまとめられており、働く意味など改めて考えさせられました。中学時代に、とても良い経験をさせて頂いたと思っています。これからも、職業についての授業を継続して頂けることを願います。■息子が将来、就きたい職業の理由とそれに向かって何をすべきか、それが現在、学校で学習している教科とどのように結びついているかなどを資料を作成して、論理的に分かりやすく説明したことに息子の成長を感じました。また、今の教育が、私が中学校の頃に体験した暗記型教育ではなく、自分で考えて結論を導く自律型教育に転換していることに改めて感心しました。夏休みの良い課題だと思います。■相手に伝わるようにいくつかの項目に分けており、順番や流れも考えられていた。また、体験したこと、調べたことなどをうまく取り入れ、日々の経験や周りの人とのやりとりが大切な財産になり、将来に繋がっていくことを再確認した。これからも、難しく考えるのではなく、素直に人の話を聞き、体験して、自分なりの考えや意見を持てる人になってください。■職場体験で学んだことや、興味のある職業について分かりやすくまとめられていました。一緒に発表を聞いた下の子にも、分かりやすい内容でした。言葉を補って詳しく伝えたり、分かりやすい言葉に言い換えて伝えたりする工夫をしていました。前回の発表よりも、発表の仕方やまとめ方が良くなっていると感じました。■自分が興味をもった内容について、自分なりに調べて分かったことを、堂々と発表していました。自分の思いを伝えることで、夢の実現に向けての一步が踏み出せたと思います。これからは、自分で決めた目標が達成できるように、限られた時間を有効に使う努力ができるといいですね。■色使いが統一されていたので見やすかったです。かわいいうんパンのイラストが入っていたこともあり、飽きずに聞くことができました。枠で囲まれ、色が変わっているところがあり、わかりやすくまとめられていました。教師という職業について、とてもよく知ることができました。■なりたい職業と、好きな文房具とを関連付けて構成されていたところが良かったです。製図用のシャーペンの特徴などをたくさん、説明してくれて、とても面白かったです。将来、一級建築士になって、お気に入りの製図用シャーペンで、素敵な建物を造れるように頑張ってください。

III 終わりに

夏休み中、家族の皆様から助言をいただき、ありがとうございました。後期は小新ジャーニー「新潟の今を知り、未来を語ろう！」と題して地域文化について探究します。探究した成果は家族の前で発表してもらいます。冬休みも、ご期待ください。